

子どものころ、父の助手席から見た景色は、
どこまでも広くて—— ちょっとだけ、まぶしかった。
窓の外を流れる街並みに、胸が高鳴ったあの日。

そして今。

ハンドルを握るのは、僕だ。
同じ道を走っても、見える景色はまるで違う。
だけど、あの時と同じ風が、今も吹いている。

——ドライブ コア。

記憶を超えて、未来へ走れ。